



華山先生俳諧画譜





畫神卷之五

伴遊繪は唯極を尋ふ我と云
之縁のこゝろ一際縁なきを何れを風韻
に留めざるをいふに凡縁の源なき
形なきをなく流本枯老収なきを能
なきをしるるをわが國之風
を流す無村一流の味あり
其のわがわがをわがわがに
あはれ描きしはわがわがに
世のわがわがをわがわがに
のいひよわわがをわがわがに
詩のわがわがをわがわがに
のわがわがをわがわがに

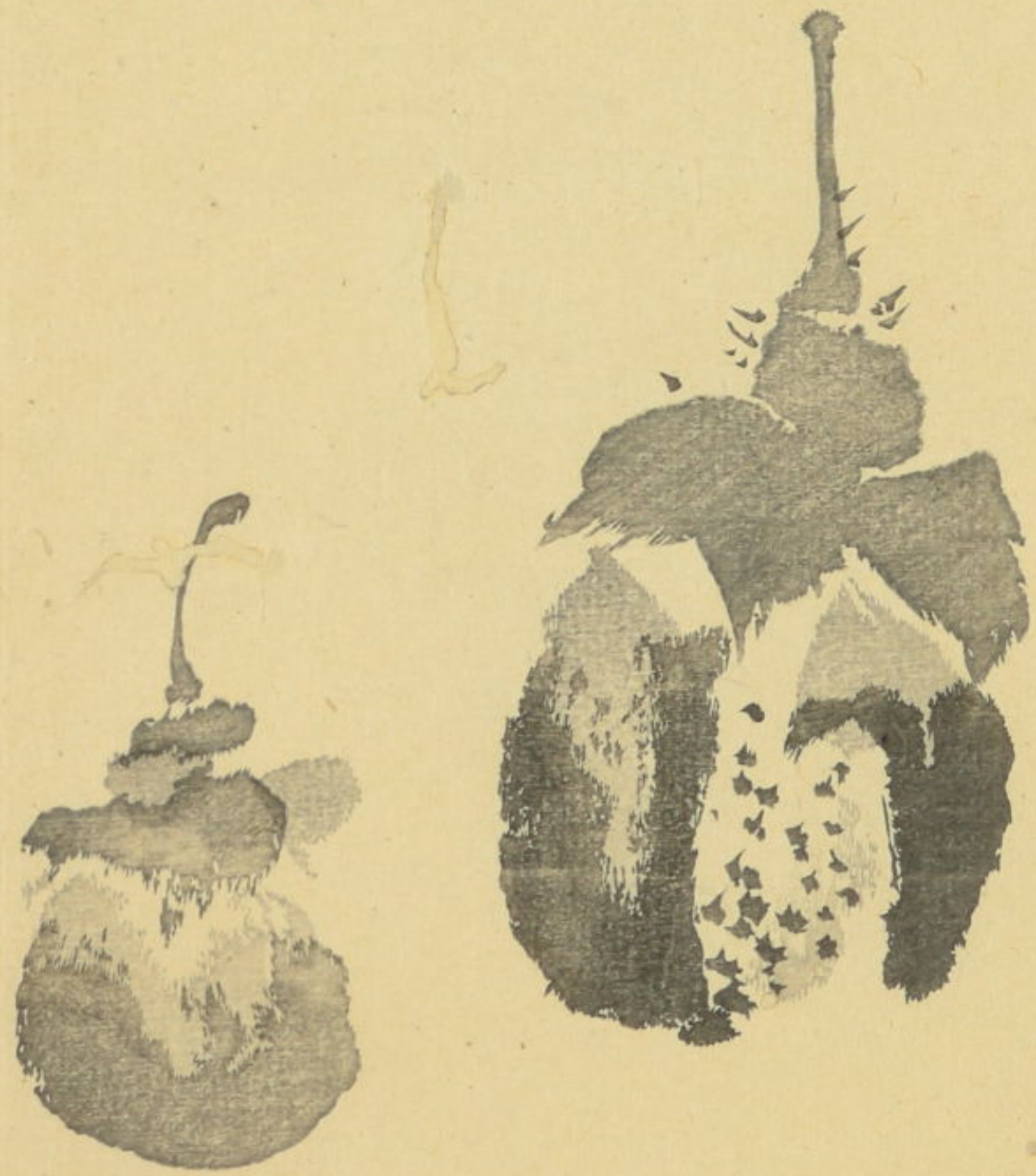
教人



松花堂中法



惺々羽ハ法ヲ遠古ニ取リ
筋ヲ時々ノ風ヲ脱ス



立園畫意



離屋ハ松花堂子
新齊名ニ似たり





光悦八宿生一云
韻を以る



本阿弥全、松花
堂ヨリ来ル



一棟画机



信香ノ画ハ安信ニ後ニ氣意ハ
菱川ヨリ脱化来ルニ似テ



竹石宮意



五石井狩野時史
ノ風ヲ不脱



燕村字子云



夜半箱画小古洞
一喜夕不似夕



乃心其心
あはれきり



華山先生者廣閱和漢西洋之書頗
得書畫筆妙者既世人之所能知也
於茲曾問先生俳畫濫觴先生乃正
芭蕉流之源揮毫毫以作俳畫譜授
與於余獨其與愛之秘匣中寧視好
古之諸君子是則所以上櫻木也去
爾已酉孟春

三河

鈴木三岳



推屋藏板



